

2016（平成28）年度 シラバス

教科名（国語） 科目名（国語総合） 使用教科書（数研出版『高等学校国語総合』） 単位数（5）

教材	指導事項との対応	単元(学習)目標	学習活動	評価の観点(◎は重点事項)					時数	進度	
				関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解			
表現一	スピーチ	話イ	目的や場に応じて、効果的に話す。	人をひきつける話し方・場に応じた話題を考える。	○	◎			○	2	
		書ウ	適切な表現の仕方を考えて書く。	適切な表現について考える。	○		◎		○		
随想	人と人が 出会う手 順 言葉のち ぐはぐ	読ウ	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。	小説家による随想で、優れた文章表現に触れる。	○			◎	○	6	
		読エ	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図をとらえる。	文章内の時間の流れに注意しながら読解する。	○			◎	○		
		書ウ	適切な表現の仕方を考えて書く。	言葉と、言葉によって表される心や感情との不均衡について学ぶ。	○		◎		○		
入門	宇治拾遺 物語 児 のそら寝 検非違 使忠明	読ウ	文章に描かれた人物、心情を表現に即して読み味わう。	場面の展開をとらえ、話の面白さについて考える。	○			◎	○	6	
		事ア(ア)	言語文化の特質に気づき、伝統的な言語文化について理解する。	古語辞典を使って古語の意味を確認しながら読む。	○			○	◎		
		事ア(イ)	文語のきまりを理解する。	歴史的仮名遣いに注意して読む。	○			○	◎		
表現二	意見文	書イ	論理の構成や展開を工夫して自分の考えを文章にまとめる。	構成を工夫して、自分の意見をまとめる。	○		◎		○	2	
		読オ	幅広く文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。	自身と世界との関わりを意識する。	○			◎	○		
入門	入門一 入門二	読ア	文章の形態に応じた表現の特色に注意して読む。	短い例文を繰り返し音読し、漢文の口調に慣れる。	○			◎	○	3	
		事ア(イ)	訓読のきまりについて理解する。	漢文と現代日本語の文構造の違いに意識を向ける。	○			○	◎		
評論一	水の東西	読エ	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図をとらえる。	具体例と抽象的表現の対応を理解し、筆者の主張を読み取る。	○			◎	○	5	
		書ウ	適切な表現の仕方を考えて、対象を的確に表現する。	文化比較を通して自国の文化の相対化を行う。	○		◎		○		
	科学・技術・社会	読イ	文章の内容を叙述に即して的確に読み取る。	指示語が指す対象を的確にとらえる。	○			◎	○	5	
読エ		文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図をとらえる。	文章のキーワードとなる語句の意味を理解し、筆者の主張を読み取る。	○			◎	○			
話ア		根拠を明確にし、展開を工夫して意見を述べる。	現代社会の科学的側面における課題について考える。	○	◎			○			
小説一	羅生門	読ウ	文章に描かれた人物、心情を表現に即して読み味わう。	登場人物の心理をpushしていきことで、小説のおもしろさを味わう。	○			◎	○	7	
		書エ	優れた表現についてその条件を考え、自分の表現に役立てる。	比喩表現や情景描写の効果的な使い方を学ぶ。	○		◎		○		
		話エ	相互評価を行い、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。	「人間とは何か」「真の善悪の価値観」への考えを深める。	○	◎			○		
入門	竹取物語 なよ竹の かぐや姫	読ウ	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。	登場人物の関係、主人公の人物設定を理解する。	○			◎	○	3	
		事ア(イ)	文語のきまりを理解する。	用言について理解する。	○			○	◎		
故	漁父之利	読ウ	文章に描かれた人物、情景、心情など	短い文章を読み、面白さを味わう。	○			◎	○	8	

	矛盾 狐借虎威 朝三暮四		を表現に即して読み味わう。									
		読ア	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。	本文の歴史的背景を学習し、寓話に託された論者の意図を理解する。	○			◎	○			
		事ア(イ)	訓読のきまりについて理解する。	置き字や再読文字のきまりについて理解する。	○			○	◎			
評論二	「攻撃」と 「共存」	読エ	文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価する。	論理的な思考法を理解する。	○			◎	○			
		話ア	話題について様々な角度から検討して自分の考えを持つ。	現代の課題に目を向け、よりよい社会の仕組みやあり方を考える。	○	◎			○			
小説一	旅する本	読ウ	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。	登場人物の成長・状況の変化・事物の関係性などを読み解く。	○			◎	○			
		話ア	話題について様々な角度から検討して自分の考えを持つ。	ものの見方・感じ方・考え方を豊かにする読書への認識を深める。	○	◎			○			
詩	六月 I was born サーカス	事イ(イ)	文章の組立てについて理解している。	散文詩の形式について理解する。	○			○	◎			
		話ア	話題について様々な角度から検討して自分の考えを持つ。	作者の生命観を理解しつつ、自身の生命観も育む。	○	◎			○			
随筆一	徒然草 五題	読エ	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図をとらえる。	作者の主張を読み取る。	○			◎	○			
		読ウ	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。	作者の理想をとらえる。	○			◎	○			
史伝	管鮑之交 晏子之御 鶏口牛後	読ウ	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。	史伝に登場する人々の人物像を読み取り、文章を読み味わう。	○			◎	○			
		事ア(ア)	伝統的な言語文化への興味関心を広げる。	春秋時代の時代背景についておおまかに理解する。	○			○	◎			
評論一	「わらし べ長者」の 経済学	読エ	文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価する。	一般論との対比を効果的に用いて主張する文章展開を学ぶ。	○			◎	○			
		書イ	論理の構成や展開を工夫して、自分の考えを文章にまとめる。	結論部に説得力を持たせるような論の展開の仕方を学ぶ。	○		◎		○			
		話ア	話題について様々な角度から検討して自分の考えを持つ。	身近な例から経済学的な発想に興味を持つ。	○	◎			○			
小説一	富嶽百景	読ウ	文章に描かれた人物、心情を表現に即して読み味わう。	作品世界を客観的にとらえ、論理的に説明する。	○			◎	○			
		読エ	文章の構成や展開を確かめる。	文学の役割について考察する。	○			◎	○			
		事イ(イ)	語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにする。	作品にちりばめられた表現の工夫について理解する。	○			○	◎			
歌物語	伊勢物語 三題	読ア	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。	物語の構成をおさえ、歌に凝縮された主人公の気持ちを理解する。	○			◎	○			
		事ア(イ)	文語のきまりを理解する。	助詞について理解する。	○			○	◎			
		読ウ	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。	歌に詠まれた場面をおさえ、歌に託された詠み手の思いを理解する。	○			◎	○			
唐詩	絶句 律詩	読ア	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。	日本で古くから親しまれてきた代表的な漢詩を読み味わう。	○			◎	○			
		読ウ	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。	修辞を踏まえながら、描かれた光景や作者の心情を読み取る。	○			◎	○			
		事ア(イ)	訓読のきまりについて理解する。	漢詩のリズムを意識して訓読する。	○			○	◎			
短歌と俳句	短歌 俳句	読ア	作品の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。	作品を音読し、韻律の響きを味わう。	○			◎	○			
		読エ	作品の構成や展開を確かめ、書き手の意図をとらえる。	作品の感動の中心はどこかを考える。	○			◎	○			

		書ウ	対象を適切な表現の仕方を考えて書く。	作歌で感性を豊かにするとともに、自己表現を行う。	○		◎		○	
評論三	ものとことば	読イ	文章の内容を必要に応じて要約する。	抽象的見解とその具体例からなる文章展開を学ぶ。	○			◎	○	5
		事イ(ア)	言語の役割について理解する。	近代言語学の基礎を学ぶ。	○			○	◎	
小説三	頭ならびに腹	読エ	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図をとらえる。	作者が登場人物にどのような意味を持たせようとしたのか説明する。	○			◎	○	6
		読ウ	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。	自己の生き方と比較しながら、登場人物の行動を批評する。	○			◎	○	
随筆一	枕草子三題	読エ	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図をとらえる。	作者の美的価値観を理解する。	○			◎	○	8
		事ア(イ)	文語のきまりを理解する。	敬語について理解する。	○			○	◎	
思想	論語	読ア	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。	『論語』の代表的な章句を読み味わう。	○			◎	○	6
		読ウ	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。	孔子が理想とした生き方・人との関わり方を、本文から読み取る。	○			◎	○	
評論三	時間と自由の関係について	読イ	文章の内容を要約したり詳述したりする。	段落相互の関係を整理して、筆者の主張を理解する。	○			◎	○	5
		書エ	優れた表現に接してその条件を考え、自分の表現に役立てる。	哲学的なものの考え方について学ぶ。	○			◎	○	
小説三	沖繩の手記から	読ウ	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。	言動や情景の描写から登場人物の心情を読み取る。	○			◎	○	6
		書ア	文章の形態や文体、語句などを工夫して書く。	自己の想像力によって作品世界をとらえる。	○			◎	○	
		話ア	根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べる。	悲惨な戦争の実態を知り、平和への願いを新たにさせる。	○	◎			○	
和歌	万葉集古今・新古	読ア	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。	長歌や短歌の形式を理解し、古代の歌の世界を味わう。	○			◎	○	4
日記文学	土佐日記二題	読ア	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。	日記の書き手に注目し、表現や文体の特色について理解する。	○			◎	○	4
		事ア(イ)	文語のきまりを理解する。	「なり」「ぬ」を正しく読み取る。	○			○	◎	
文章	雑説	読ア	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。	論理的に構成された文章を読み味わう。	○			◎	○	4
		読ウ	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。	論理構成と比喻表現を押さえ、筆者の主張を読み取る。	○			◎	○	
評論四	自分と向き合う	読イ	内容を叙述に即して的確に読み取る。	近代思想を理解する。	○			◎	○	5
		読オ	幅広く文章を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりする。	「自己」の問題について考える。	○			◎	○	
		話ア	話題について様々な角度から検討して自分の考えをもつ。	「近代」という時代について学ぶ。	○	◎			○	
軍記物語	平家物語三題	読ア	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。	対句表現を用いたリズムある和漢混淆文を味わう。	○			◎	○	7
		読ウ	文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう。	登場人物の会話や行動に着目し、葛藤する人物の内面を理解する。	○			◎	○	
俳諧	おくのほそ道	読ア	文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読む。	俳諧紀行文の特徴を理解し、作者の旅と創作への思いを考える。	○			◎	○	4
評論四	動的平衡の回復	読エ	文章の構成や展開を確かめ、書き手の意図をとらえる。	問題提起とその結論を的確に読み取る。	○			◎	○	4
		書ウ	適切な表現の仕方を考えて書く。	現代社会の課題に目を向ける。	○			◎	○	

到達目標を達成できたか A (80%以上)、B (65%以上) C (40%以上)、D (40%以下)	自己評価	次学期（次年度）に向けての課題
1学期		
2学期		
学年末		